

# 日仏会館創立百周年記念

日仏シンポジウム「日仏芸術交流の100年——建築、音楽、庭園、写真、映像」関連

## 日仏文化交流に尽力した 作曲家たち コンサートと対談

### プログラム

小松耕輔 (1884-1966)	ピアノ・ソナタト長調(1922)
池内友次郎 (1906-1991)	弦楽四重奏のための前奏曲と追走曲(1946)
平尾貴四男 (1907-0953)	ピアノ・ソナタ(1948/51)
矢代秋雄 (1929-1976)	ピアノ・ソナタ(1961)
黛 敏郎 (1929-1997)	オール・デューブル(ピアノソロ版)(1947)



### 対談



片山杜秀 [思想史研究者、音楽評論家、慶應義塾大学教授]  
Morihide Katayama



野平一郎 [作曲家、ピアニスト、東京音楽大学学長]  
Ichirō Nodaira



片山杜秀



ピアノ

岡田博美

Hiromi Okada, piano

ピアノ

入川舜

Shum Irikawa, piano



弦楽四重奏

クアルテット・エクセルシオ

Quartet Excelsior, quatuor à cordes

2024

1.29 月

東京文化会館 小ホール

〒110-8716 東京都台東区上野公園5-45 TEL.03-3828-2111

18:30 開演 (18:00 開場)

チケット 全席自由 一般 4,000円 / 学生 2,000円 (ご入場の際に学生証をご提示ください。) 日仏会館会員 2,000円 (申し込みはPeatixからのみ。)  
※当日券は、残席がある場合のみ17時より販売します。学生の方は学生証を、日仏会館会員の方は会員カードをお持ちください。

申し込み 一般・学生 チケットぴあ … <https://tpia.jp> [Pコード 254-033]  
e+ (イープラス) … <https://eplus.jp>  
東京文化会館チケットサービス … 03-5685-0650

主催団体会員 Peatix … <https://fmfj-20240129.peatix.com/>  
※2024年1月21日(日)23時55分まで販売  
当日は、購入後に郵送されるチケットをお持ちください。

お問い合わせ (公財)日仏会館: [bjmfj@mfjtokyo.or.jp](mailto:bjmfj@mfjtokyo.or.jp)

公益財団法人  
日仏会館  
ウェブサイト



主催: 公益財団法人日仏会館  
日仏音楽協会  
助成: 公益財団法人石橋財団  
web <https://www.mfjtokyo.or.jp/>  
X (旧 Twitter) @mfjtokyo



※曲目および曲順はやむを得ない事情により変更することがございます。※未就学児のご入場はお断りしています。※発熱等、体調不良の場合は入場をお控えください。  
※主催者以外の写真撮影、録音、録画は固くお断りします。※最新情報は(公財)日仏会館のウェブサイトをご確認ください。

# Compositeurs ayant contribué aux échanges culturels entre le Japon et la France

Kôsuke Komatsu (1884-1966)  
Sonate pour piano en sol majeur

Tomojirô Ikenouchi (1906-1991)  
Prélude et Fugue pour quatuor à cordes

Kishio Hirao (1907-0953)  
Sonate pour piano

Akio Yashiro (1929-1976)  
Sonate pour piano

Toshirô Mayuzumi (1929-1997)  
Hors d'œuvres (la version piano seul)

## Dialogue

Morihide Katayama × Ichirô Nodaira

Akira Miyoshi (1933-2013)  
Quatuor à cordes II

Yoshihisa Taira (1937-2005)  
Sonomorphie I pour piano

Katori Makino (1940-1992)  
Intermittances VI pour trio à cordes

Akira Tamba (1932-2023)  
Tathatâ II pour quatuor à cordes

## Profile

### 岡田博美(ピアノ)

Hiromi Okada, piano

富山県出身。安藤仁一郎、森安芳樹、マリア・クルチオの各氏に師事。桐朋学園大学在学中、日本音楽コンクール第1位優勝。大学を首席で卒業後、マリア・カナルス、日本国際、プレトリア国際コンクールにて次々に優勝を果たし大きな注目を集める。

1984年から2021年4月までロンドン在住。1985年ロンドンでのデビューリサイタルでは「まさしく来るべきスター」(デイリー・テレグラフ紙)、「図抜けて確かなテクニックで、創造力に富む情熱的な音楽性」(タイムズ紙)と絶賛され、以降ロンドンを中心にヨーロッパ各地で演奏活動を続けるかたわら、日本においても毎年意欲的なプログラムによるリサイタルを開催し好評を博す。

古典から現代曲までの幅広いレパートリーには定評があり、これまでにフィルハーモニア管弦楽団、BBC交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニック管弦楽団、イギリス室内楽管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィル、東京都交響楽団、東京交響楽団ほか、国内外の多数のオーケストラと協演している。室内楽にも積極的で、ウィーンフィルのメンバーやヴァイオリンの天満敦子、川島成道とも定期的に共演している。

録音はカメラータ・トウキョウから継続的にソロ、室内楽のCDが発売されており、いずれも高い評価をもって迎えられ、また2015年からは桐朋学園大学院大学教授として、後進の指導にあたっている。

公式サイト / <http://www.hiromi-okada.com>

### クアルテット・エクセルシオ(弦楽四重奏)

Quartet Excelsior, quatuor

### 西野ゆか(ヴァイオリン) 北見春菜(ヴァイオリン) 吉田有紀子(ヴィオラ) 大友肇(チェロ)

Yuka Nishino, violon Haruna Kitami, violon Yukiko Yoshida, alto Hajime Otomo, violoncelle

1994年桐朋学園大学在学中に結成。「繊細優美な金銀細工のよう」(独フランクフルター・アルゲマイネ紙)と2016年ドイツ・デビューで称賛された、年間60公演以上を行う日本では数少ない常設の弦楽四重奏団。

2021年12月にリリースした最新アルバム「ベートーヴェン第13番&大フーガ」で、日本人団体として本邦初のベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲録音を完結させた。ベートーヴェンを軸とした『定期公演』、20世紀以降の現代作品に光をあてる『ラボ・エクセルシオ』、次世代の弦楽四重奏団との共演『クアルテット・ウィークエンド』などの国内シリーズに加え、米国、欧州、アジアと海外公演も回を重ねている。一方で、幼児から学生のコンサートや地域コミュニティを対象に室内楽の普及にも積極的に力を注いでいる。

2016年6月サントリーホール主催により2週間ベートーヴェンの弦楽四重奏全16曲を日本団体として初演奏。同年6月まで6年間『サントリーホール室内楽アカデミー』でコーチング・ファカルティを務め、引き続き後進の指導にもあたっている。

第2回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第2位、第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール最高位、第19回新日鉄音楽賞「フレッシュアーティスト賞」、第16回ホテルオークラ音楽賞等受賞歴多数。

「ながらの春 室内楽の和 音楽祭 室内学セミナー」、2017年4月より浦安音楽ホールレジデンシャル・アーティストとしても、室内楽の楽しさを伝えていく活動を幅広く行っている。

オフィシャル・ウェブサイト / <http://www.quartet-excelsior.jp/>

フェイスブック / <https://www.facebook.com/QuartetExcelsior/>

### 入川舜(ピアノ)

Shun Irikawa, piano

静岡市出身。東京芸術大学音楽学部ピアノ科卒業、同大学院研究科修了。文化庁海外派遣研修員として、パリ市立地方音楽院とパリ国立高等音楽院修士課程でピアノ伴奏を学ぶ。高瀬健一郎、寺嶋隆也、辛島輝治、迫昭嘉、A・ジャコブ、J・F・ヌーブルジュの各氏に師事。「静岡の名手たち」オーディションに合格。神戸新聞松方ホール音楽賞、青山パロックザール賞を受賞。日本人作曲家の作品を蘇らせたCD「日本のピアノ・ソナタ選」(MTWD 99045)、また「ゴルトベルク変奏曲」(MTKS-18341)のソロ録音CDがある。

2011年デビューリサイタルを開催。以後も、ドビュッシーのエチュード全曲など、意欲的なプログラムでリサイタルを行う。

2021年には東京文化会館にてジェフスキの「不屈の民変奏曲」他によるリサイタル(日本演奏連盟による主催)を開催。

2022年のバッハの「ゴルトベルク変奏曲」演奏会が、第32回青山音楽賞を受賞した。

現在、幅広いジャンルで活動中。オペラシアター・こんにゃく座のピアニストを2018年より務める。東京、渋谷の美竹サロンにて、「バッハを辿る」コンサートシリーズを継続中。東京芸術大学非常勤講師。日本演奏連盟会員。

公式ホームページ / <https://shunirikawa.work/>

### 片山杜秀

Morihide Katayama

[政治学者、音楽批評家、慶應義塾大学教授]

1963年生まれ。音楽批評家、政治学者。慶應義塾大学法学部教授。『音盤考現学』と『音盤博物誌』(アルテスパブリッシング)で2008年度の吉田秀和賞とサントリー学芸賞を、『未完のファシズム』(新潮社)で2011年度の司馬遼太郎賞を受ける。音楽に関する近著に『ごまかさなクラシック音楽』(新潮選書)、『クラシック音楽家15講』(河出文庫)、『鬼子の歌』(講談社)、『ベートーヴェンを聴けば世界史がわかる』(文春新書)など。2013年からNHKFM『クラシックの迷宮』の構成と出演を担当。

### 野平一郎

Ichirô Nodaira

[作曲家、ピアニスト、東京音楽大学学長]

東京芸術大学大学院修了後、パリ国立高等音楽院に学ぶ。現在、作曲家、ピアニスト、指揮者、教育者として国際的に活躍する音楽家。第13回中島健蔵音楽賞、第44回、第61回尾高賞、芸術選奨文部大臣新人賞、第11回京都音楽賞実践部門賞、第35回サントリー音楽賞、第55回芸術選奨文部科学大臣賞、日本芸術院賞、第52回 ENEOS音楽賞洋楽部門本賞を受賞。2012年春、紫綬褒章を受章。現在、静岡音楽館AOI芸術監督、東京文化会館音楽監督。東京芸術大学名誉教授、東京音楽大学学長。日本フォーレ協会会長。仙台国際音楽コンクールピアノ部門審査委員長。